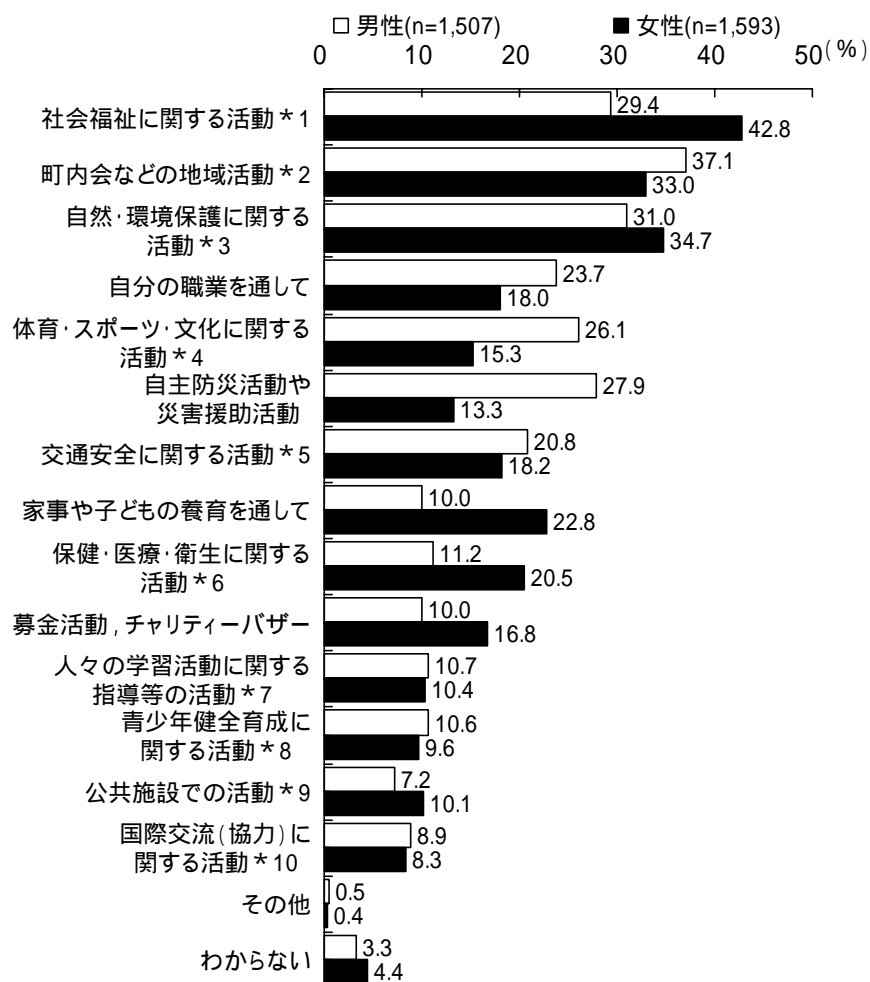


- 5 地域社会における参画

1 地域社会への貢献内容

「何か世の中の役に立ちたいと思っている」人のうち、女性は「社会福祉に関する活動」が42.8%と最も多く、男性は「町内会などの地域活動」が37.1%と最も多くなっている。

図表 - 5 - 1 社会への貢献内容（全国）



- *1：老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など
- *2：お祝い事や不幸などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など
- *3：環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など
- *4：スポーツ・レクリエーション始動、祭り、学校でのクラブ活動における指導など
- *5：子どもの登下校時の安全監視など
- *6：病院ボランティアなど
- *7：料理、英語、書道など
- *8：ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など
- *9：公民館における託児、博物館の展示説明員など
- *10：通訳、難民救助、技術援助、留学生援助など

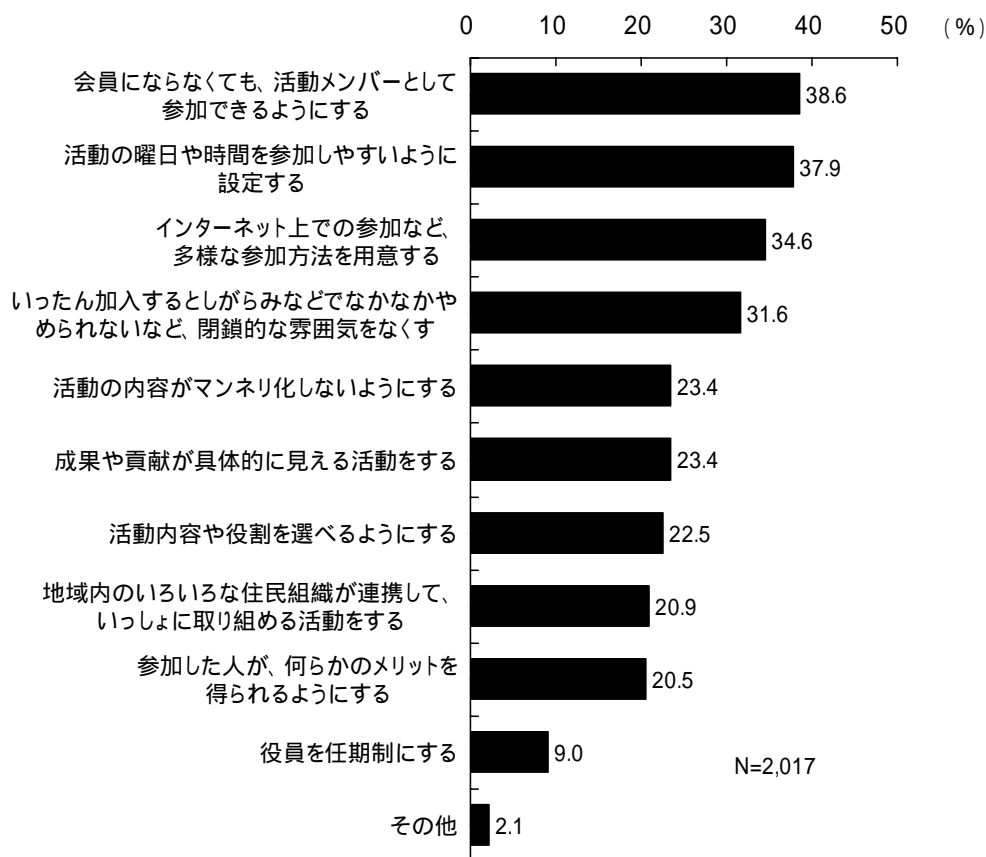
注：社会への貢献意識を尋ね、「何か社会のために役立ちたいと思っている」と答えた者による複数回答。

資料：内閣府「社会意識に関する世論調査」平成 18 年 2 月

2 地域活動に参加しやすくするための工夫

地域での活動にさらに参加しやすくするために必要なものをみると、「会員にならなくても、活動メンバーとして参加できるようにする」、「活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する」が高くなっている。

図表 - 5 - 2 地域での活動にさらに参加しやすくするために必要なもの（全国）



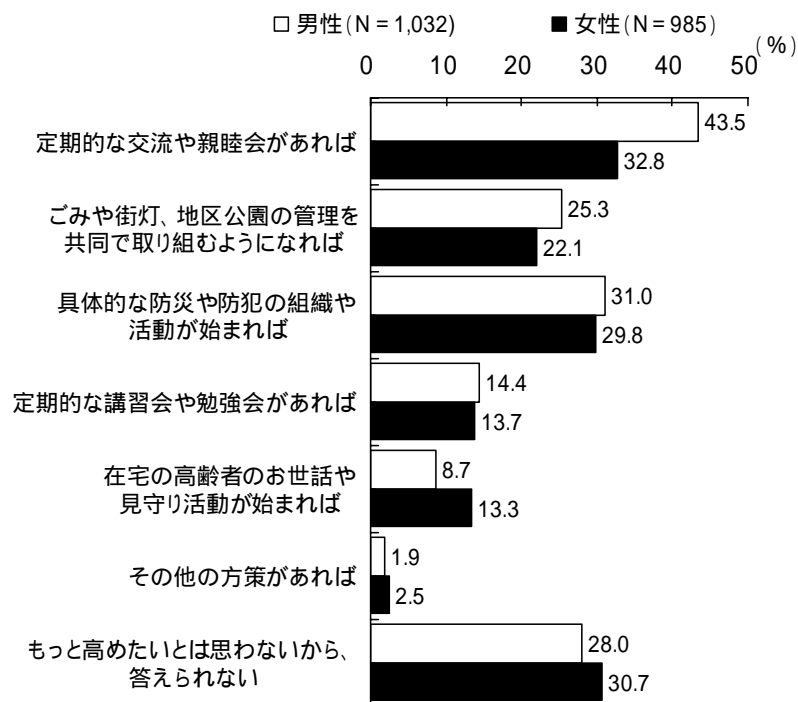
注：複数回答。

資料：国土交通省「大都市圏におけるコミュニティの再生・創出に関する調査報告書」平成 17 年

3 隣近所同士の信頼感、助け合い意識の向上に有効なきっかけ

隣近所の人同士の信頼感や助け合いの意識を今よりも高めようとする場合に有効なきっかけとしては、男女ともに「定期的な交流や親睦会があれば」の割合が最も高く、男性は43.5%、女性は32.8%となっている。

図表 - 5 - 3 隣近所同士の信頼感、助け合い意識の向上に有効なきっかけ（全国）



注：複数回答。

資料：国土交通省「大都市圏におけるコミュニティの再生・創出に関する調査報告書」平成17年